

飲食業

回答企業19企業

概況



～業況判断D I 値 全項目で改善～

今期の業況判断D I 値は、前回調査比26.3ポイント上昇の▲10.5と改善し、前回調査予想値(▲26.3)を上回る結果となった。項目別では、売上・受注で21.1ポイント上昇の31.6、売上数量が15.8ポイント上昇の26.3、利益でも31.6ポイント上昇の15.8と全項目で改善となった。

新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、小宴会・個人客はコロナ禍前に戻っている先もあり、業況は回復基調にある。仕入価格・光熱費等の上昇に伴う価格転嫁の実施状況により収益の格差が生じている。

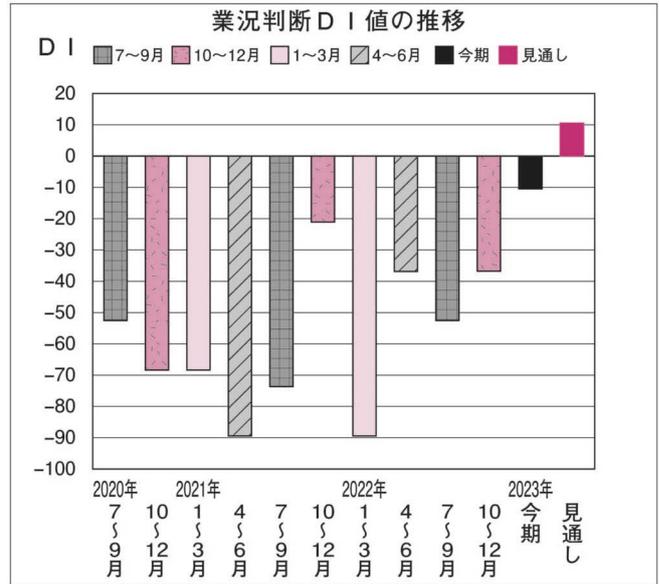
来期の見通し



～総合的業況判断では改善の見通し～

来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比21.0ポイント上昇の10.5と改善の見通しである。項目別では、売上・受注で15.8ポイント低下の15.8、売上数量が5.2ポイント低下の21.1、利益でも5.3ポイント低下の10.5と全項目で悪化の見込みとなった。

販売価格の値上げを検討しているが、仕入価格等の上昇に追いつかないうえ、値上げに伴う落ち込みを懸念している。項目別では悪化を見込んでいるが、新型コロナウイルス感染症の影響の緩和や各種イベント開催等に期待し、総合的業況判断では改善の見込みとなった。



不動産業

回答企業9企業

概況



～業況判断D I 値 大幅改善で推移～

今期の業況判断D I 値は、前回調査比33.3ポイント上昇の0.0と大幅改善し、前回調査予想値(▲55.6)を上回る結果となった。

項目別では、売上・受注で22.2ポイント上昇の22.2、売上数量が22.2ポイント上昇の11.1、利益では11.1ポイント上昇の0.0と全項目で改善となった。

新生活に向けて契約件数が増加しており、賃貸契約物件の動きが活発に推移している。中古物件へのお問い合わせも多く、総合的業況は大幅改善で推移した。

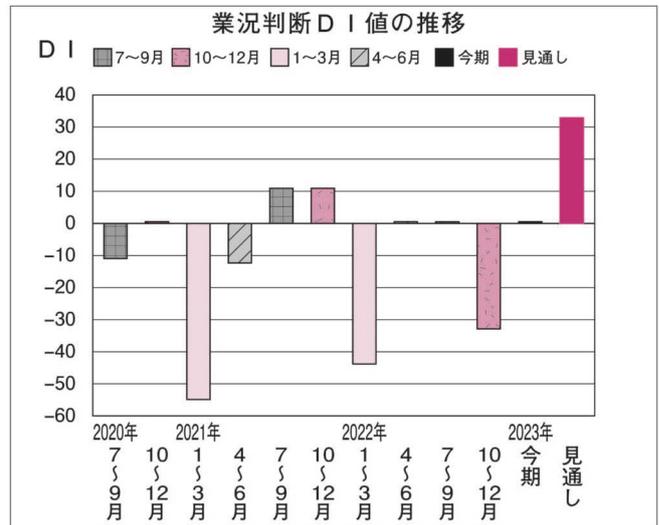
来期の見通し



～総合的業況 大幅改善の見通し～

来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比33.3ポイント上昇で33.3と大幅改善の見通しである。項目別では売上・受注で11.1ポイント上昇の33.3、売上数量が11.1ポイント上昇の22.2、利益でも22.2ポイント上昇で22.2と全項目で改善の見込みとなった。

来期は、新年度のシーズンとなるため、入居相談が増加し、業況は良くなる見通し。総合的業況は大幅改善で推移すると見込んでいる。



調査要領

- 調査時期 2023年3月下旬
- 調査地域 当金庫営業区域7市町村(弘前市、黒石市、平川市、五所川原市、大鰐町、藤崎町、田舎館村)
- 調査方法 上記地域内291社から当金庫営業店の調査員による聞き取り調査。
- 分析方法 各質問事項で、「変化なしとした回答部分を除いて、「増加(上昇)」「やや増加(やや上昇)」したとする回答と、「減少(下降)」「やや減少(やや下降)」したとする回答の構成比との差(判断D.I.)を中心に分析を行った。